

1	「学校教育目標」は学校や地域の実情にふさわしいものになっている	3.1
2	今の時代状況にふさわしい「めざす生徒像」が設定されている	2.9
3	「授業」は生徒にとってわかりやすいものになっている	2.9
4	「観点別の評価・評定」などの説明を十分してもらっている	2.9
5	定期テスト(中間・期末)については、計4回で生徒の学力の把握には十分である	2.4
6	生徒が主体となる生徒会活動が活発に行われている	2.8
7	週31コマの授業時数の実施は生徒の学力向上に効果がある	3.1
8	土曜スクールでの英語学習は英語に対する興味を深め、効果がある	2.8
9	学力向上のために、家庭学習を充実させる宿題が適切に出されている	2.6
10	中高連携による「出前授業」は生徒の学習意欲の向上や進路展望に役立っている	3.2
11	小中連携による「出前授業」は中学校へのスムーズな入学や学習への意欲付けに役立つ	2.9
12	保護者・学校・地域との連携が密接にとられ、学校の取組などがよくわかる	2.9
	平均	2.9

